

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-199	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	文国 002-902	精選文学国語		

1.編修の基本方針

①生涯にわたり必要な言語能力を身につけるとともに、さまざまな文学的文章への理解を深める。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標と、教材ごとに学習する主な目標を示しました。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・近代以降の文学的文章のうち、「随筆」「小説」「戯曲」「詩」「短歌」「俳句」を取り上げ、文学的文章への理解を深めることができるようにしました。
- ・文学や映画について論じた「評論」を取り上げ、多様な角度から文学的文章への理解を深めることができるようにしました。
- ・教材の内容やテーマに関係するコラム「文学への扉」や、作者に関連する資料や解説を示したコラム「参考」などを設け、文学に関わるさまざまな知識を身につけられるようにしました。
- ・附録に「近現代の日本文学史」を設け、必要に応じて、文学の変遷についての理解を深めることができるようにしました。

②共感したり想像したりする力や、創造的な思考力、伝え合う力、思いや考えを広げ深める力を高める。

- ・展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材や戯曲教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、作者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- ・書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉えたり、表現を味わったり、また文章を批評的に読むことによって、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりできるよう、いくつかの教材末に「言語活動」などの項目を用意しました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、読み取ったことを伝え合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書くこと」「読むこと」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・読解教材と関連する作品を比較する「読み比べ」を設け、両者の違いについて考えたり、考えたことを話し合ったりする活動を取り入れることにより、作品への思いや考えを広げ深められるようにしました。
- ・附録に、創造的な思考力を高める創作のポイントを示した「創作へのアプローチ」や、「書くこと」「読むこと」の学習を見通したり振り返ったりすることができる「この教科書で学ぶこと」を設けました。

③進んで読書に親しみ、言葉が持つ価値への認識を深め、人生を豊かにする態度を育てる。

- ・生徒の読書意識を喚起し、読書の幅を広げられるよう、附録「読書案内」で、全単元について、筆者・作者やジャンル・テーマに関連した図書を紹介しました。
- ・本や読書に対する関心を高めたり、本や読書について考えたりするため、本や読書に関連する評論「言葉の池をつなぐ」(I部「3評論1」)や随筆「書かれた風景の中へ」(II部「1随筆1」)・「クレールという女」(II部「4随筆2」)を掲載し、読書に関連する言語活動「書評を書く」(I部「3評論1」)を設けました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
I 部	1 随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・幼年期の身体感覚と、「大人の世界」において流通する情報との乖離について述べた随筆を用意しました。(第1号) ・韓国語翻訳者である筆者の多言語体験を題材として、言葉と自分との関係について述べた随筆を用意しました。(第5号) 	<p>→8～13ページ</p> <p>→14～18ページ</p>
	2 小説1	<ul style="list-style-type: none"> ・人間が虎に変身するという特異な状況の中での、主人公の内面と苦悩について描いた小説を用意しました。また、関連作品と比較する教材を設けました。(第1号) ・結婚前後での朝の時間の過ごし方の変化から、なくすことで好きになるものについて語られた小説を用意しました。(第2号) ・小説を創作し、友達と批評し合う活動を通して、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→20～35ページ</p> <p>→36～43ページ</p> <p>→44～45ページ</p>
	3 評論1	<ul style="list-style-type: none"> ・来る年ごとに咲く花について述べられた中国の詩を題材として、詩における美や真実について述べた評論を用意しました。(第4号)(第5号) ・作品鑑賞における言葉の役割について考え、作品の評価と自己の創作との関係について述べた評論を用意しました。(第2号) ・書評を書くとともに、友達を書いた書評と、そこで取り上げられた本とを読み比べる活動を通して、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第3号) 	<p>→48～54ページ</p> <p>→55～59ページ</p> <p>→60ページ</p>
	4 小説2	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖的で絶望的な状況における悲しみや孤独感を寓意的に描き、他者との関わりによって、その孤独な魂が僅かに慰められる小説を用意しました。(第3号) ・沖縄戦において、負傷者たちへの献身を貫いて亡くなった看護師の姿を通じて、平和について考える小説を用意しました。(第5号) 	<p>→62～74ページ</p> <p>→75～95ページ</p>
	5 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「竹」、「永訣の朝」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌を用意しました。(第1号) ・筆者の作歌や選歌の経験を踏まえ、短歌における表現の要諦や、言葉を使う際の態度について述べた評論を用意しました。(第5号) ・共同で詩を作る活動を通して、創造的な思考力を高め、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→98～112ページ</p> <p>→113～117ページ</p> <p>→118ページ</p>
	6 小説3	<ul style="list-style-type: none"> ・「お嬢さん」を巡る出来事によって変化する「先生」や「K」の心情を、「先生」の視点から描いた小説を用意しました。また、同小説の関連する他の部分と比較する教材を設けました。(第1号) 	<p>→120～153ページ</p>
	7 評論2	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤頭巾」「狂言』『伊勢物語』といった作品を例に挙げて、「文学のふるさと」とはどのようなものかを述べた評論を用意しました。(第1号)(第5号) ・民話とその語りに関する映画や本を題材として、物語の意義について述べた評論を用意しました。(第5号) ・文学作品に関する評論や解説を参考に論述する活動を通して、考えを広げ深める力を養う教材を用意しました。(第1号) 	<p>→156～166ページ</p> <p>→167～174ページ</p> <p>→175～176ページ</p>
	8 小説4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で鞆を持っているつもりで、実は鞆に制御される青年や「私」を描くことで、負荷を欲し、拘束されることに安堵さえ覚える現代人の姿を風刺した小説を用意しました。また、関連作品と比較する教材を設けました。(第2号) ・引っ越し先の町での主人公と隣人たちとの心地よい距離感の中での交流を通して、現代社会における人間関係の在り方を描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号) ・これまでに学んだ古典作品のうち一つを選んで翻案作品を創作する活動を通して創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第5号) 	<p>→178～187ページ</p> <p>→188～197ページ</p> <p>→198ページ</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
Ⅱ部	1 随筆1	<ul style="list-style-type: none"> ・用いられる言語によって、見える世界や自らの感じ方が変わることについて述べた随筆を用意しました。(第5号) ・英語を母語として育った筆者による、『万葉集』『古寺巡礼』の読書体験と、山辺の道での旅行体験が述べられた随筆を用意しました。(第4号)(第5号) 	<p>→200～208ページ</p> <p>→209～214ページ</p>
	2 小説1	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の瞬間ごとに変化する心の不可思議さ、その中で体験される美の衝撃を描く小説を用意しました。また、関連作品と比較する教材を設けました。(第1号) ・父の胸のへこみを巡るエピソードを通して、家族との記憶や別れの悲しみを静かに描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号) ・小説の人称を書き換える活動を通して、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→216～229ページ</p> <p>→230～242ページ</p> <p>→243ページ</p>
	3 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「帰途」、「小諸なる古城のほitori」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・俳句を用意しました。(第1号) ・「悟りとはどんな時でも平気で生きていくこと」という境地に達した正岡子規の生き方を論じた評論を用意しました。(第2号) ・テーマを立ててアンソロジーを作り、読み合っって批評し合う活動を通して、創造的な思考力を高め、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→246～255ページ</p> <p>→256～265ページ</p> <p>→266ページ</p>
	4 随筆2	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーや性についての自身の認識と一人称との関係について述べた随筆を用意しました。(第3号) ・人間らしく生きるとは何かという問題が提示された本と、その本を読んだ筆者の人生を重ね合わせるように述べる随筆を用意しました。(第2号)(第3号) 	<p>→268～274ページ</p> <p>→275～284ページ</p>
	5 戯曲	<ul style="list-style-type: none"> ・終戦直後の広島における父と娘とのやり取りを通して、親子の関係や平和について考える戯曲を用意しました。(第5号) ・好きな小説のある場面を脚本に書き換え、原作にした小説と比較する活動を通して、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→286～309ページ</p> <p>→310ページ</p>
	6 小説2	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の知識階級の青年を通して、自我の目覚めとその挫折の苦悩を描く小説を用意しました。(第1号) 	<p>→312～347ページ</p>
	7 評論	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の語り手である「私」が果たす役割について論じることで、小説の構造や表現の特徴を明らかにした評論を用意しました。(第1号) ・テキストを読むとはどのような行為なのか、どのようにすれば人はテキストと豊かな関係を築くことができるのかを説く評論を用意しました。(第5号) ・即興の演技と、単一のカメラアングルによって撮られた映画を題材として、物語における語り手の機能について論じた評論を用意しました。(第1号) ・小説と映画化作品を比較し、批評する活動を通して、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→350～354ページ</p> <p>→355～362ページ</p> <p>→363～372ページ</p> <p>→373～374ページ</p>
	8 小説3	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹の嘘と、その嘘が現実になったかのような不思議な出来事を通して、人間の心の奥深さを描いた小説を用意しました。(第1号) ・馬車に乗り合わせた人々と、その人々に起こる出来事を、「蠅」の視点から描き、偶然の事故により運命を狂わされる人間のむなしさを浮き彫りにする小説を用意しました。(第1号) ・文学作品についてさまざまな資料を調べて発表する活動を通して、創造的な思考力を高め、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号) 	<p>→376～389ページ</p> <p>→390～400ページ</p> <p>→401ページ</p>

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、読書案内を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-199	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	文国 002-902	精選文学国語		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の2事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学ぶことができるようにしました。
- ・「随筆」「小説」「(文学などについての)評論」「詩」「短歌」「俳句」「戯曲」などの多様な種類の文学的文章を掲載し、文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができるようにしました。
- ・「小説を創作する」「小説の人称を書き換える」などの言語活動を設け、文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができるようにしました。
- ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書へのいざないとして、単元扉で掲載教材に関連する本のタイトルを示し、附録の「読書案内」でそれらの本をまとめて紹介しました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

・文学的文章を創作したり、創作した作品を批評し合ったりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・作品の内容や形式について議論したり論述したりする言語活動教材や、作品に関連のある事柄を調べて発表する言語活動教材などを用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。
- ・読解教材と関連した他の作品と比較する教材を用意することで、作品の解釈や、作品に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができるようにしました。
- ・附録に「近現代の日本文学史」を設け、必要に応じて、文学の変遷について学ぶことができるようにしました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時間			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
I 部									
1 随筆	光の窓	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	8		2	2	1 学 期 24
	言葉の痕跡	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	14		2	2	
2 小説1	山月記	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	20		3	3	
	【文学への扉1】変身ということ	(1)エ		(1)オ	46				
	【読み比べ】「山月記」と「人虎伝」を読み比べる	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、オ	34		1	1	
	あの朝	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	36		2	2	
	【言語活動】小説を創作する	(1)ア、ウ、エ	(1)ア/(2)ア		44	8		8	
3 評論1	詩と感情生活	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	48		2	2	
	言葉の池をつなぐ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	55		2	2	
	【言語活動】書評を書く	(1)ア、ウ、エ		(1)ア、ウ/(2)ア	60		2	2	
4 小説2	山椒魚	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	62		3	3	
	【文学への扉2】小説は誰のものか	(1)エ		(1)オ	96				
	沖縄の手記から	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	75		4	4	
5 詩歌	鉄	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	98		1	1	
	竹	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	100		1	1	
	永訣の朝	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	102		2	2	
	硝子の駒ー短歌抄	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、ウ	108		2	2	
	言葉に対する憤り	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	113		2	2	
	【言語活動】共同で詩を創作する	(1)ア、ウ、エ	(1)エ/(2)エ		118	6		6	
6 小説3	こころ	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	120		6	6	
	【文学への扉3】襖という建具	(1)エ		(1)イ	154				
	【読み比べ】「こころ」上と下を読み比べる	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	152		1	1	
7 評論2	文学のふるさと	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	156		2	2	
	「物語り」について	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	167		2	2	
	【言語活動】評論や解説を参考に論述する	(1)ア、ウ、エ		(1)オ/(2)イ	175		3	3	
8 小説4	鞆	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	178		1	1	
	【読み比べ】小説に込められた寓意を考える	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、キ	186		1	1	
	隣人運	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	188		2	2	
	【言語活動】翻案作品を創作する	(1)ア、ウ、エ	(1)イ/(2)ウ		198	7		7	
2 学 期 28									
3 学 期 18									

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時数			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
Ⅱ部									
1 随筆1	国語から旅立って	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	200	2	2	1 学 期 24	
	書かれた風景の中へ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ、キ	209	3	3		
2 小説1	檸檬	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	216	2	2		
	【文学への扉4】記号も言語の一種	(1)エ		(1)イ	244				
	【読み比べ】小説の解釈を深める	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、オ	227	1	1		
	最後のドッジボール	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、エ	230	2	2		
	【言語活動】小説の人称を書き換える	(1)ア、ウ、エ	(1)ウ／(2)イ		243	9	9		
3 詩歌	夏の姿	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	246	1	1		
	帰途	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	248	1	1		
	小諸なる古城のほとり	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、イ	250	1	1		
	金剛の露－俳句抄	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、ウ	252	2	2		
	平気－正岡子規	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	256	3	3		
	【言語活動】アンソロジーを作る	(1)ア、ウ、エ		(1)ウ、キ／(2)オ	266	3	3		
4 随筆2	空っぽの瓶	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	268	2	2		
	クレールという女	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	275	3	3		
5 戯曲	父と暮せば	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	286	4	4		
	【言語活動】小説を脚本に書き換える	(1)ア、ウ、エ		(1)イ、ウ／(2)ウ	310	3	3		
6 小説2	舞姫	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	312	10	10		2 学 期 28
	【文学への扉5】小説の冒頭部	(1)エ		(1)イ	348				
7 評論	演技する「私」	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	350	2	2		
	文学の未来	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	355	2	2		
	映画の可能性のために	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、カ	363	3	3		
	【言語活動】映画と原作を比較する	(1)ア、ウ、エ		(1)ウ、オ／(2)エ	373	3	3		
8 小説3	葉桜と魔笛	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	376	3	3		
	蠅	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、エ	390	2	2		
	【文学への扉6】映画と小説	(1)ア		(1)オ	402				
	【言語活動】さまざまな資料を調べて発表する	(1)ア、ウ、エ		(1)オ、キ／(2)カ	401	3	3		
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						30	110		